

平成24年度
事業状況報告書

社会福祉法人 明正会

平成25年5月

I 法人事業状況報告

法 人 本 部

1 事業報告総論

平成24年度は、改正介護保険法が施行され新たな制度での運営を行う年度となりました。介護報酬は、介護職員処遇改善交付金が報酬に含まれるなど、実質的なマイナス改定が行われました。

また、制度的には、地域包括ケアシステムの充実や通所介護でサービス提供時間区分の見直しが行われるなど在宅重視の制度改正が行われました。

法人全体では、平成23年度の運営形態では大幅な減収が見込まれる改正内容であり、制度また報酬改定の影響を軽微にするための運営が迫られる年度となりました。

各部署とも、稼働率の向上による減収幅の圧縮・通所ではサービス提供時間を延長する変更・各施設とも加算の取得率の向上を図るなどの取り組みを行いました。通所介護では、導入までの準備不足から、サービス内容の充実を伴うことが十分とは言えず、利用率の維持向上を図ることが出来ませんでした。

取り組みを行ったことで、減収の影響をある程度押さえることは出来ましたが、抜本的な見直しを行ったわけではないため、次年度への課題となりました。

平成25年度に向け、新たなサービス内容の確立と提供時間に見合う内容に変更を行うなどの対応が必要となっています。

社会福祉法人としての地域福祉の増進の取組みの一環として行っている介護セミナーは第4回目を迎え、参加者が増え、また、他法人による事例発表を行うなど一定の成果を上げることが出来ましたが、地域住民の参加をより一層働きかけるなどの取組みが必要です。

人材育成については、例年より退職者数が増えた年度となり、要因の分析から採用後の指導内容の見直しが必要となります。介護経験を持たない入職者が増える傾向にあり、介護実務と介護の魅力を合わせた指導内容の早急な確立が求められます。また、在籍職員の職業倫理の確立に向けた取組みも必要となります。

介護保険を取り巻く社会保障全般は、今、大きな岐路に立っているものと思われます。既存制度の限界、また、財政上の問題などを同時に満たすことが必要となっています。

財政上の問題は、法人単位で対応出来るものではありませんが、現行制度また考えられている国の方針に沿う事業展開を行うことは可能です。地域包括システムについて、制度の理解と運営の検討を行い、上里町との折衝を通じて早急な対応が求められます。

24年度は、制度改正に対する対応を行うことが主となりサービス内容の充実について成果を上げることが出来ませんでした。25年度は、法人組織の変更や法人施設内研修の充実、また、各部署での事業計画の確実な遂行が求められており、運営会議などを通じサービスの質の向上を図ることといたします。

2 法人事業の概要

(1) 実施事業

平成24年	4月	1日	改正介護保険スタート
		25日	避難訓練
	5月	24日	監事監査
		25日	理事会・評議員会
	7月	7日	理事役員打ち合せ
		10日	児玉地域老人施設連絡会総会
		22日	法人主催納涼祭「おもいで祭り」
	8月	29日	避難訓練
	10月	16日	理事会・評議員会
		26日	全職員健康診断（29日）
	12月	11日	衆議院選挙不在者投票
		26日	避難訓練、もちつき大会
平成25年	1月	26日	第4回介護セミナー
	2月	18日	認知症対応型共同生活介護外部評価
	3月	2日	上里町社協福祉大会介福参加
		26日	理事会・評議員会

※毎月第1水曜日 業務会議（年12回開催）

毎月第1水曜日 法人施設内研修（年12回開催）

奇数月第2土曜日 GH運営推進会議（年6回開催）

(2) 職員の状況

- ①年間入職者数 18名
- ②年間退職者数 18名
- ③年度末在籍者数

	常勤	非常勤	計
介福	45.0	9.5	54.5
短期	6.0	1.3	7.3
通所	6.0	1.3	7.3
軽費（特定）	14.0	0	14.0
GH	7.0	0	7.0
	78.0	12.1	90.1

※常勤換算方法による

3 財務の状況

(1) 貸借対照表

流動資産	124,080,928	流動負債	45,874,496
固定資産	879,116,824	固定負債	280,197,240
		純資産	677,126,016

(2) 事業活動計算書

事業活動収入	566,843,597
事業活動支出	558,919,405
事業活動収支差額	7,924,192
事業外活動収入	31,463,959
事業外活動支出	36,487,553
事業外活動収支差額	-5,023,594
特別収入	341,665
特別支出	0
特別収支差額	341,665
当期活動収支差額	3,242,263

(3) 資金収支計算書

経常収入	570,379,451
経常支出	543,176,438
経常活動資金収支差額	27,203,013
施設整備等収入	300,000
施設整備等支出	2,544,574
施設整備等資金収支差額	-2,244,574
財務活動収入	9,954,482
財務活動支出	58,422,682
財務活動資金収支差額	-48,468,200
当期資金収支差額	-23,509,761

※各部署詳細等は決算書による

3 平成 24 年度提供食数一覧

1. 特別養護老人ホーム「青空」

提供時間 月	朝食	昼食	おやつ	夕食
4	2555	2583	2572	2565
5	2663	2680	2641	2668
6	2572	2587	2568	2585
7	2685	2706	2707	2692
8	2610	2625	2631	2611
9	2543	2560	2544	2545
10	2563	2573	2615	2561
11	2424	2455	2447	2429
12	2413	2440	2491	2410
1	2490	2499	2561	2490
2	2242	2275	2337	2244
3	2424	2428	2554	2427

2. ケアハウス「桜草」

提供時間 月	朝食	昼食	おやつ	夕食
4	787	761		822
5	840	813		880
6	815	786		862
7	786	791	21	853
8	787	735		817
9	813	787		857
10	790	766		866
11	791	762		846
12	799	764		849
1	779	751	29	871
2	711	660		767
3	780	731		838

3. グループホーム「さくらんぼ」

提供時間 月	朝食	昼食	おやつ	夕食
4	220	211		220
5	246	230		247
6	240	233		240
7	248	242		248
8	246	240		246
9	240	226		240
10	245	229		246
11	240	233		240
12	240	233		240
1	246	238		247
2	222	222		221
3	229	226		230

4. デイサービスセンター「ポピー」

提供時間 月	朝食	昼食	おやつ	夕食
4		430	430	
5		452	452	
6		440	380	
7		427	427	
8		447	447	
9		409	408	
10		447	447	
11		452	452	
12		440	380	
1		395	395	
2		394	394	
3		404	406	

Ⅱ 介護老人福祉施設事業状況報告

介護老人福祉施設 青空

1 年度総括

平成 24 年度青空では、利用者・御家族との関わりをより深く、また生活がより快適になるように、御家族からの意見を取り入れる活動として、御家族向けアンケートを実施し、ニーズの把握とサービス提供する上での問題点や環境面も含めたサービス向上を図る取り組みを行いました。

アンケート結果は、全体的には良好な評価をいただきましたが、生活環境に関わることや施設行事などについて記述解答をいただき、気がつかなかった点などもあり、改善を図ることといたしました。

今後も食事・入浴・排泄などの利用者の直接処遇に関わる設問も設けるなど、御家族の要望等を随時把握し、利用者・御家族の希望に沿ったサービス提供が出来るように取り組んでいく必要があります。

施設内での職員の活動としては、個人情報ツールを活用して利用者の情報収集を行うこと、御家族との関わりについては、「私を知って帳」を基にした情報収集を進めるわけでしたが、新規の利用者も含め情報収集が出来ていない方も多く、実施方法や確認体制など含め、確実に実施出来るよう取り組みます。

また、今年度の目標に掲げた「利用者が幸福感を持って暮らしていけることを提供する」事の一環として、軟菜食の提供を行いました。軟菜食は、栄養課と委託会社様の共同で開発していただき、食事委員会がアセスメントを行い、摂食状態を確認し、誤嚥の危険性のある方にも細刻み食から軟菜食に変更しました。

利用者の体調に合わせた食事提供は、体力の改善の他、自分で色々やろうとする気力もできる方もいて、改めて食事の重要性、口から食べることの大切さを改めて知ることが出来、また食べる楽しさを提供することができたと思います。

職員の知識習得については、三大介護を中心とした委員会の構成メンバーを変更して、昨年までとは違う視点で利用者の生活や環境面に関わってきました。

新しい委員会に所属し、関係する研修に参加し知識・技術を覚えることが出来た部分もありますが、計画的な研修参加及び情報共有の仕組みがしっかりと出来ていなかったため、来年度は施設内研修と連動しツールを使い各職員の研修ニーズを把握し計画的に実施しなければなりません。

施設内で行う資格取得として実施している介護職員を対象とした痰の吸引研修、胃ろう研修については毎月計画的に行うことができ、今年度は胃ろう研修も修了した職員も多く、職員個々のスキルアップではあるが重度化する利用者の対応ができる知識や技術を身につけたことは青空全体としてのサービスの質向上が図れたと思います。

今年度、青空の計画のひとつである地域交流の活動として上里町社会福祉大会に参加し福祉関係者や地域住民を対象にした介護教室を実施しました。役職者だけではなく職員も参加し、限られた時間の中で一般の方ができる介助方法などの実技体験・説明を行い、福祉施設として地域住民の方に向けた情報発信の活動が行なえたと思います。

年間稼働率目標については、一ヶ月の退所者数が多い月もあり、短期入所利用から入所へ切り替わる方が多くいたことから入所と短期入所のバランスが図れない月もありました。来年度

も引続き2名体制で連携を図り利用者の事前調査、連絡・調整を確実にを行い緊急時の対応に務めて行きます。短期入所についても今年度以上に居宅事業所及び病院等への定期訪問の実施と利用情報を行い他事業所との連携を図り稼働率維持に努めて行きます。

開園以来、利用者と御家族との関わりを深めることに取り組んできましたが、今年度、利用者との対応で間違いがあったことは、青空全体の問題として、また大きな反省点として捉え改善を行わなければなりません。施設で生活する利用者は介助の難しい方、又、重度の認知症の方が集団で生活しています。あってはなりません、利用者との関わりの中で介助の仕方1つでそれが虐待に繋がることがあります。不適切な事象は、職員の個人的な問題として捉えるのではなく、職員間の連携やメンタル面のフォロー不足、業務体制など全ての面から見直さなければなりません。青空では今年度起きた「不適切な処遇」について再発防止の研修を行いました。職員各自が日々の関わりでの反省や再発防止に向けた取り組みを行うなど、今後も継続して研修を行うなど、今回だけの間違いで終わらせるのではなく、職員育成に関わる事、利用者の生活を支えていくことを全員で考え利用者・御家族との良好な関係づくりに取り組んで行きます。

今年度、青空の事業計画は利用者に幸福感を持って暮らしていただくこと、また、御家族からの意見で青空に足りていないものなど新たに改善を行いました。青空の運営方針、処遇方針のもと、今までも取り組んでいるものも含め多職種がそれぞれの立場の機能を十分に発揮し、利用者の生活を支えていくうえで共通の意識を持ち取り組んでいかななくてはなりません。

特に青空の役職者は職員育成も含め取組事項の確認体制も確実に行う必要があります。自分にできる事を「率先垂範」する以上に目標達成にやる気を持った姿勢で取り組まなければなりません。

来年度も利用者を支えて行くうえで新たな取組がありますが目標達成に向け全員が知識・技術の向上を図り利用者に安心して快適な生活を提供することを目指し事業を行います。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取組事項

- ①利用者個人担当職員が、ご家族との接点を深める等の活動内容の強化を行う。
- ②ご家族アンケートの実施により、家族意向を取り入れた処遇の提供。
- ③地域住民や民生委員の方を対象とした社会福祉大会で、介護教室を開催し地域交流の充実を図る。
- ④介護職員の口腔内痰の吸引にかかる研修・胃ろう研修に関して、施設内研修の計画的な実施。
- ⑤入所、ショートステイと活動予定を作り連絡調整をしっかりと行える体制を作り、年間稼働率向上の取組み実施。

(2) 研修等事業

①施設内研修

- ・ 4月 看取り介護研修「命とどう関わるか」

- ・ 5月 労務関係
- ・ 6月 介護予防体操
- ・ 7月 チームケアについて
- ・ 8月 救急対応研修「AED 使用法等」
- ・ 9月 認知症について
- ・ 10月 褥瘡予防、感染症について
- ・ 11月 グループ会議学習事例発表
- ・ 12月 虐待研修
- ・ 1月 看取り介護研修
- ・ 2月 上里町高齢者サービスの紹介
- ・ 3月 食事関係取り組み事項発表

②委員会ミニ研修など

- ・ 年度研修 口腔内の痰の吸引・胃ろうによる経管栄養 施設内研修
- ・ 施設外研修後の研修報告（全体会議時研修報告）
- ・ 7月 排泄介助用品説明、皮膚トラブル予防
- ・ 8月 食事と口腔機能
- ・ 9月 食事時の座位姿勢
- ・ 10月 入浴介助実技（相手の力を引き出し自分の腰を守る介護）
- ・ 12月 移乗介助実技（ベット、車椅子を使用した実技）
- ・ 1月 口腔ケアに関わる講義
- ・ 2月 回想法とは（講義、グループ討議）

③施設外研修

- ・ 排泄ケア実践研修
- ・ 感染症基礎研修
- ・ しっかり食べてすっきり出そう
- ・ 看護職員研修会
- ・ 楽ワザ2day
- ・ 介護福祉士実習指導者養成研修
- ・ 新任職員フォローアップ研修
- ・ 高齢者介護における栄養ケアマネジメント
- ・ オムツ外し学会
- ・ 転倒予防アセスメント

(3) 行事事業

- ・ 毎月の誕生会実施（ボランティア参加）
- ・ 4月 園庭桜見学、大光寺祭り外出、避難訓練・消火訓練

- ・ 5月 バラ園見学
- ・ 6月 園庭おやつ作り、外食レク
- ・ 7月 施設納涼祭、
- ・ 8月 流しそうめん、総合防災訓練
- ・ 9月 選択食
- ・ 10月 コスモス見学
- ・ 11月 ミニ運動会
- ・ 12月 餅つき会、避難訓練（夜間想定）
- ・ 1月 初詣外出及び青空神社参拝、選択食
- ・ 2月 健康祈願祭、豆まき、ホーム喫茶
- ・ 3月 お楽しみ会

介護老人福祉施設「青空」稼働状況及び加算取得情報

上半期

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計	
稼働状況	稼働日数	30	31	30	31	31	30	183	
	新規入所者数	4	0	1	1	2	1	9	
	退所者数	2	0	1	2	1	2	8	
	延人数	2,364	2,480	2,397	2,464	2,472	2,394	14571	
	入所利用率	98.50%	100.00%	99.88%	99.35%	99.68%	99.75%	99.52%	
	介護度別	要介護1	30	31	30	31	31	30	183
		要介護2	180	186	180	177	155	150	1,028
		要介護3	480	527	510	496	554	491	3058
		要介護4	1,073	1,116	1,080	1,133	1,099	1,091	9,650
		要介護5	601	620	597	627	633	630	3,708
平均介護度	3.86	3.85	3.85	3.87	3.87	3.87	3.86		
加算状況	日常生活継続支援	2,334件	2,479件	2,397件	2,419件	2,379件	2,339件	14,347件	
	加算件数・請求額	53,682	57,017	55,131	55,637	54,717	53,797	329,981	
	看護体制	2,334件	2,479件	2,397件	2,419件	2,379件	2,339件	14347件	
	加算件数・請求額	9,336	9,916	9,588	9,676	9,516	9,356	57,388	
	夜勤職員配置	2,334件	2,479件	2,397件	2,419件	2,379件	2,339件	14347件	
	加算件数・請求額	30,342	32,227	31,161	31,447	30,927	3,0407	186,511	
	個別機能訓練	1,600件	1,673件	1,697件	1,897件	1,776件	1,730件	10373件	
	加算件数・請求額	19,200	20,076	20,364	22,764	21,312	20,760	124,476	
	栄養マネジメント	2,140件	2,232件	2,154件	2,257件	2,148件	2,099件	13030件	
	加算件数・請求額	29,960	31,248	30,156	31,598	30,072	29,386	182,420	
経口維持	0件	0件	25件	31件	31件	30件	117件		
加算件数・請求額	0	0	700	868	868	840	3,276		
療養食	30件	31件	30件	31件	31件	30件	183件		
加算件数・請求額	690	713	690	713	713	690	4,209		
看取り介護	30件	0件	30件	60件	30件	30件	180件		
加算件数・請求額	4,800	0	4,800	9,600	4,800	4,800	28,800		
加算合計額	148,010	151,197	152,590	162,303	152,925	150,036	91,7061		
介護報酬合計額	19,105,416	20,216,241	19,602,180	19,947,915	19,537,101	19,190,169	117,599,022		

下半期

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (上半期、下半期)	
稼働状況	稼働日数	31	30	31	31	28	31	365	
	新規入所者数	3	2	3	5	0	2	24	
	退所者数	3	1	7	0	0	6	26	
	延人数	2,436	2,386	2,389	2,404	2,240	2,413	2,8839	
	入所利用率	98.23%	99.42%	96.33%	96.94%	100.00%	97.30%	98.76%	
	介護別	要介護1	31	30	31	31	28	31	395
		要介護2	144	128	122	124	112	124	1,782
		要介護3	382	390	417	434	420	461	5,562
		要介護4	1,177	1,148	1,145	1,137	1,064	1,172	13,435
		要介護5	702	690	674	678	616	625	7,693
平均介護度	3.97	3.98	3.97	3.96	3.95	3.93	3.91		
加算状況	日常生活継続支援	2,411件	2,364件	2,364件	2,402件	2,240件	2,407件	28,535件	
	加算件数・請求額	55,453	54,372	54,372	55,246	51,520	55,361	656,305	
	看護体制	2,411件	2,364件	2,364件	2,402件	2,240件	2,407件	28,535件	
	加算件数・請求額	9,644	9,456	9,456	9,608	8,960	9,628	114,140	
	夜勤職員配置	2,411件	2,364件	2,364件	2,402件	2,240件	2,407件	28,535件	
	加算件数・請求額	31,343	30,732	30,732	31,226	29,120	31,291	370,955	
	個別機能訓練	1,801件	1,925件	1,981件	1,920件	1,736件	1,841件	21,577件	
	加算件数・請求額	21,612	23,100	23,772	23,040	20,832	22,092	258,924	
	栄養マネジメント	2,122件	2,097件	2,159件	2,103件	1,904件	2,058件	25,473件	
	加算件数・請求額	29,708	29,358	30,226	29,442	26,656	28,812	356,622	
	経口維持	31件	30件	2件	0件	0件	0件	180件	
	加算件数・請求額	868	840	56	0	0	0	5,040	
	療養食	31件	30件	31件	62件	56件	62件	455件	
加算件数・請求額	713	690	713	1,426	1,288	1,426	10,465		
看取り介護	2件	3件	166件	0件	0件	126件	477件		
加算件数・請求額	1,960	2,640	27,680	0	0	22,080	83,160		
加算合計額	151,301	151,188	177,007	149,988	138,376	170,690	1,855,611		
介護報酬合計額	19,922,292	19,556,955	19,772,073	19,787,904	18,416,610	19,964,763	235,019,619		

短期入所生活介護青空 稼働状況一覧

<上半期>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援 2						2
要介護 1	7	7	9	17	17	26
要介護 2	65	32	32	62	72	54
要介護 3	115	149	163	141	153	180
要介護 4	115	170	140	194	182	164
要介護 5	64	60	74	53	30	35
合計	366	418	418	467	454	459
稼働率	91.7%	92.0%	95.3%	103.0%	100%	104%
平均介護度	3.26	3.36	3.26	3.08	2.92	2.96
加算状況 介護						
機能訓練 件数・請求額	24 43,920	25 50,160	23 50,160	25 56,040	25 54,480	26 55,080
看護体制 件数・請求額	24 14,640	25 16,720	23 16,720	25 18,680	25 18,160	26 18,360
夜勤職員配置 件数・請求額	24 47,580	25 54,340	23 54,340	25 60,710	25 59,020	26 59,670
送迎 件数・請求額	34 62,560	33 60,720	27 49,680	26 47,870	28 51,520	30 55,200
サービス提供体制 件数・請求額	24 43,920	25 50,160	23 50,160	25 56,040	25 54,480	26 55,080
加算状況 予防						
機能訓練 件数・請求額						2 24
送迎 件数・請求額						2 368
サービス提供体制 件数・請求額						2 24
加算請求合計	212,620	232,100	221,060	239,340	237,660	243,390
保険請求合計	3,415,540	3,930,910	3,915,200	4,270,310	4,097,970	4,156,250

< 下半期 >

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 2				9	7		18
要介護 1	24	31	24	19	20	0	201
要介護 2	33	21	25	24	23	43	486
要介護 3	205	193	192	182	108	60	1,841
要介護 4	135	112	130	144	107	189	1,782
要介護 5	47	48	46	32	62	108	659
合計	444	405	417	401	320	400	4,969
稼働率	97.8%	91.3%	91.6%	89.6%	79.5%	90.1%	93.8%
平均介護度	3.15	3.28	3.08	3.22	3.36	3.8	3.22
加算状況 介護							
機能訓練 件数・請求額	26 53,280	25 48,600	25 50,040	21 48,120	24 38,400	21 48,000	290 596,280
看護体制 件数・請求額	26 17,760	25 16,200	25 16,680	21 16,040	24 12,800	21 16,000	290 198,760
夜勤職員配置 件数・請求額	26 57,720	25 52,650	25 54,210	21 52,130	24 41,600	21 52,000	290 645,970
送迎 件数・請求額	47 86,480	51 93,840	45 82,800	42 77,280	37 68,080	24 44,160	424 780,160
サービス提供体制 件数・請求額	26 53,280	25 48,600	25 50,040	21 48,120	24 38,400	21 48,000	290 596,280
加算状況 予防							
機能訓練 件数・請求額				9 108	7 84		18 216
送迎 件数・請求額							2 368
サービス提供体制 件数・請求額				9 108	7 84		18 216
加算請求合計	268,520	259,890	253,770	241,690	199,280	208,160	2,817,450
保険請求合計	4,119,180	3,749,920	3,862,630	3,728,400	3,008,970	3,813,270	46,068,550

Ⅲ 介護老人福祉施設事業状況報告書

介護老人福祉施設青空新館

1 年度総括

平成 24 年度は平成 23 年度に身に付けた基礎知識を基に、各グループが対象利用者を定め支援方法を検討し実際に対応を行いました。実際に支援方法を考える事で、さらに学習が必要な内容やアセスメントが必要であることに気づき、グループ会議内で更なる専門知識・技術を深め又、アセスメントを行い活動してきました。

各グループ共に特定の利用者を定め、アセスメントと更なる学習を行い実際に利用者に支援することにより、反応を直接確認できたことは今後生きる経験となりました。グループメンバーが考えを共有し、同じ支援方法を検討・実施することで利用者の情報を共有することにもつながりました。実際に支援を行い失敗してしまった内容に関しても、グループメンバーで話し合い学習することで改善への近道につながった事と思います。

平成 24 年度の活動で各グループが一定の成果を上げることが出来た一方で、見えてきた反省点もありました。

各グループが受け持ちの内容に特化しており、グループ別に利用者を定めていることで、一定の反応は得られましたが、それらが利用者の場面場面での反応となってしまう、一人の利用者をトータルで見ることが出来ず、他グループとの連携もなく、連携が必要だと感じる事があったと思います。又、グループ会議活動とカンファレンスが別々の物となっていた為、グループ会議での内容がカンファレンスに生きてこないという結果になっていました。

平成 24 年度に行ってきた活動で反省点もありましたが、各職員がたくさんの経験をする事が出来たことでとても成果のある 1 年だったと感じます。平成 25 年度は、平成 24 度に見えた反省点を活かし、利用者に質の高い介護提供が出来るように努めていきます。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

①グループ学習で学んできた内容をさらに深めて行き、利用者個別の支援へと繋げていきます。

ア 各グループで対象利用者を定め、学習が必要な内容は更なる学習を行い又、実際に支援方法を考え実践してきました。

イ 各グループで実践した内容を基に、支援方法・結果・課題等を踏まえた事例発表を施設内研修にて発表しました。

②家族との交流を深めて行きます。

ア 利用者様の誕生日に楽しく過ごせる時間を作り、ご家族と担当職員とで一緒に利用者様の誕生日をお祝いしました。又、職員とご家族様の交流が増える事で、ご家族様には利用者様の現在の状況を理解して頂き、職員はご家族様から利用者様の昔の情報などを得ることが出来ました。

③家族合同レクリエーションの開催

ア 食事レクリエーション・外出レクリエーションの際に、ご家族に参加をお願いし、

一緒にレクリエーションに参加し手伝って頂きました。又、職員とご家族様の交流が増える事で、ご家族様には利用者様の現在の状況を理解して頂き、職員はご家族様から利用者様の昔の情報などを得ることが出来ました。

3 研修等事業

(1) 施設内研修

- 4月：看取り介護研修
- 5月：労務関係
- 6月：介護予防体操
- 7月：チームケアについて
- 8月：救急対応研修
- 9月：認知症について
- 10月：感染症・褥瘡予防
- 11月：グループ会議学習事例発表
- 12月：虐待研修
- 1月：看取り介護研修
- 2月：上里町高齢者サービスの紹介
- 3月：食事関係取り組み事項発表

(2) 施設外研修

- 6月：認知症介護基礎研修
- 7月：レク・リーダー養成講座
- 2月：おむつ外し学会
- 3月：排泄ケアセミナー

3 行事事業

(1) 実施行事

- 4月：お花見（園庭）
- 5月：バラ見学（玉村北部公園）
- 6月：食べ放題（デイホール）
- 7月：納涼祭（園庭）
- 8月：流しそうめん（ホール）
- 9月：音楽鑑賞会（ホール）
- 10月：コスモス見学（八町河原）
- 11月：美空ひばりDVD観賞会（デイホール）
- 12月：クリスマス会（ホール）
- 1月：初詣（青空神社）
- 2月：豆まき・音楽鑑賞会（ホール）
- 3月：バイキング（デイホール）

IV 通所介護事業状況報告書

デイサービスセンター ポピー

1 年度総括

(1) 個々のニーズに対応したサービス時間帯

介護保険法の改正により、前年度までの6～8時間（15:45 送り）での利用から、7～9時間（16:45 送り）と5～7時間（15:30 送り）の2区分でのサービス利用が可能となりました。その結果、それまでよりは個別ニーズには対応できております。

利用者様側も他者の方の状況を見ながら、ご家族の希望で区分を決めています。秋から冬にかけては、暗くなる前に帰宅したいとのことで区分を変更希望の声もあがりました。またご家族の都合でその区分を併用して利用される方も出ています。

ただ 15:30 送りで職員が送迎に出てしまうことで、15:30～16:45 までのサービス自体が必ずしも利用者様方の個々のニーズに対応できているものだとはいえず、今後の検討課題の1つであります。

(2) 機能訓練の充実

個別機能訓練と生活機能訓練向上グループ活動の充実・強化を掲げましたが、準備不足などから開始が遅れてしまいました。個別機能訓練については、試行錯誤しながらメニューを考え実施し、その都度利用者の声を聞きながらより効果的な訓練を展開しております。生活機能向上グループ活動については該当者がおらず加算請求に至っておりません。

(3) 健康管理

サービス利用時の利用者様の体調変化の際には、ご家族・ケアマネジャーと連携を図っております。

利用者様にはインフルエンザ等の感染症対策として朝の送迎車でのマスクの着用と施設到着時の手洗い・消毒の徹底に御協力いただいております。

(4) 研修参加

施設内の研修については担当制でほぼ予定通りに実施できました。外部への研修参加が殆ど出来なかったのが課題の1つですが、外部の講師を招き、研修を行い始めました。

(5) 施設内の連携強化

①特養「青空」との連携

デイサービス利用者様で特養「青空」のショートステイを利用している方がいます。情報の共有化を図るため、日々、ショートステイの担当者と連携を図り、特変があった方等に関しては、ショートステイ利用の当日までに「利用情報連絡表」を記入し、報告を行いました。今後も継続をしていきます。

②厨房との連携

主食、汁物の配膳、麺類の湯きりを目の前で行い、適温での食事の提供をすることを開始することが出来ました。またそれと併せ栄養課による主菜バイキングも好評でしたので、今後も継続していきたいと思っております。

③居宅介護支援センター「りんどう」との連携

利用者様の状況についてはその都度担当のケアマネと連絡を取り報告し連携を図り、「利用者状況報告書」にて報告しているところです。

④職員間の連携

共通した目的意識と情報を共有するため朝迎え前・朝迎え後・夕送り後のミーティングを図りました。休み等で参加することのできない職員についてはミーティングノートの活用をしております。

(6) 目標稼働率

平成24年度の目標は75%を掲げました。実際の稼働率は65.59%（19.68人／12ヶ月）です。曜日により、人数の格差があります。ただ全体的に登録者数が少なく、目標には達成しておりません。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取組み事項

- ・サービス提供時間の変更
- ・栄養課との主菜バイキングの開催、適温提供のための目の前配膳の実施
- ・地域交流：上里町文化祭、児玉郡市ふれあい作品展への出展
利用者家族への利用アンケートと介護相談会
賀美小学校社会福祉施設見学

(2) 研修等事業

4月	全体：看取り介護	デイ：身体拘束
5月	全体：労務関係	デイ：介護保険法改正
6月	全体：予防体操	デイ：食事介助・吸引
7月	全体：チームケア	デイ：送迎介助
8月	全体：救急対応	デイ：認知症ケア
9月	全体：認知症について	デイ：入浴介助
10月	全体：感染症 褥瘡予防	デイ：職員倫理
11月	全体：事例発表	デイ：排泄介助
12月	全体：虐待について	デイ：感染症
1月	全体：看取り介護	デイ：事故防止・緊急時の対応
2月	全体：高齢者サービスの紹介	デイ：
3月	全体：食事関係事例発表	デイ：非常災害

※1月、3月にリフレ外部講師による勉強会開催

(3) 行事事業

- 4月 花見（群馬の森） 買い物ツアー
- 5月
- 6月 お楽しみおやつ 買い物ツアー

- 7月 そうめん流し 主菜バイキング 工場見学 (ハラダ)
- 8月 家族介護相談会
- 9月 慰問 (歌)、(剣道) ふれあい作品展見学 買い物ツアー
- 10月 コスモス見学 買い物ツアー ミニ運動会 二胡演奏会
- 11月 慰問 (ハーモニカ) 買い物ツアー お楽しみおやつ
- 12月 慰問 (歌) 買い物ツアー
- 1月 初詣 (玉村) 買い物ツアー 地域交流 (賀美小学校)
- 2月 手作りおやつ
- 3月 お楽しみおやつ 買い物ツアー

通所介護 稼働状況及び介護報酬請求状況

4月～9月

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規利用		3	1	0	1	0	1
利用終了		2	4	0	0	0	1
月別介護度別利用状況	要介護1	79	112	121	121	148	116
	要介護2	72	78	77	72	54	69
	要介護3	98	89	77	78	73	53
	要介護4	32	38	38	34	48	45
	要介護5	27	21	20	15	15	18
	介護計	308	338	333	320	338	301
	要支援1	60	63	69	73	57	44
	要支援2	64	44	41	41	56	65
	予防計	124	107	110	114	113	109
	合計	432	445	443	434	451	410
加算取得状況	個別機能訓練	0	0	0	87,500	90,500	57,000
	入浴介助	12,250	136,000	130,500	121,500	124,000	115,000
	サービス提供体制(介)	36,600	40,560	39,960	38,400	40,560	35,520
	運動器機能向上	0	0	0	31,500	29,250	31,500
	事業所評価	19,200	16,800	18,000	18,000	16,800	18,000
	サービス提供体制(予)	11,040	912	9,600	9,600	9,600	11,040
	処遇改善	61,720	63,070	62,170	62,140	65,310	59,410
介護報酬請求合計	3,309,330	3,381,870	3,333,990	3,337,740	3,503,560	3,188,890	

10月～3月

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規利用		3	4	1	0	2	0
利用終了		2	2	1	2	2	3
月別介護度別利用状況	要介護1	154	125	123	137	112	120
	要介護2	56	62	74	84	115	112
	要介護3	68	67	57	31	28	43
	要介護4	35	32	27	28	27	14
	要介護5	24	23	17	22	21	24
	介護計	337	309	298	302	303	313
	要支援1	45	53	56	61	62	67
	要支援2	66	44	56	36	34	31
	予防計	111	97	112	97	96	98
	合計	448	406	410	399	399	411
加算取得状況	個別機能訓練	91,000	79,500	72,000	74,000	2,500	91,000
	入浴介助	134,500	114,000	114,500	112,000	121,000	120,000
	サービス提供体制（介）	40,440	36,240	35,760	34,320	35,880	37,560
	運動器機能向上	24,750	31,500	33,750	31,500	31,500	31,500
	事業所評価	15,600	18,000	19,200	18,000	18,000	18,000
	サービス提供体制（予）	10,080	10,080	11,040	9,600	9,600	9,600
	処遇改善	64,550	58,470	57,940	53,980	55,580	59,840
介護報酬請求合計	3,487,150	3,137,180	3,108,700	2,899,990	2,981,960	3,158,420	

V 特定施設入居者生活介護事業状況報告書

ケアハウス 桜草

1 平成 24 年度年度総括

平成 24 年度は、個別ケアの実現に向けた取り組みとしてミニカンファレンスの形態で個別支援方法等を検討してきました。取り組んだ結果、目の前の問題解決や、支援方法の統一などは達成出来たと評価出来ますが、利用者を総合的にアセスメントし生活目標を計画する事などが達成できなかったと感じています。もちろん目の前の課題解決に取り組む事も大切ではありますが、利用者の生活は全て繋がっている事を理解しながら問題解決を図る視点を怠ってしまえば、目先の解決だけで本質的な生活の質の担保にはならず、結果的に利用者にも不利益を与える事になってしまいます。

又、職員の経験も蓄積されていく中、利用者に対する関わり方の慣れも生じてきてきましたが、是正する為の取り組みとして、まずは、言葉遣いや自立支援の捉え方を見直しました。利用者、家族へ不信感をもたれない言葉遣いや「出来る事はやってみよう」という考え方の見直しです。利用者にも出来る事はやってみようという考え方は、間違っている事ではなく、今後も変更する事はありませんが、ただ、伝え方や態度でマイナスの結果となり、結果的に利用者の生活の質が低下する事がある事も忘れてはいけません。まずは、利用者のやってもらいたい事などを受け入れ信頼関係を築けた時に初めて自立支援の介護が提供できる事を意識しながら取り組みました。取り組みながら、職員間でどこまで利用者に支援をするかなど課題等も浮かびあがりましたが、職員と利用者の信頼関係という意味では向上したと感じています。

平成 24 年度は、個別ケア実現に向けた課題が見え、平成 25 年度の取り組み事項が明確になりました。平成 25 年度は、利用者を総合的にアセスメントし個別ケア計画を立案し利用者の当たり前の生活を支援していきたいと思えます。

2 平成 24 年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ①ミニカンファレンスの実施
- ②係活動の実施・レク係の創設
- ③利用者との関わり方の是正

(2) 研修事業等

- ①排泄ケア実践研修
- ②認知症高齢者とのコミュニケーション
- ③介護記録キャリアアップセミナー
- ④おむつ外し学会
- ⑤排泄ケアセミナー
- ⑥転倒予防アセスメント
- ⑦安全な介護・実技研修

(3) 実施行事等

- 4月 桜見学
- 5月 バイキング

- 6月 ららん藤岡へ外出
- 7月 ホーム喫茶
- 8月 バイキング
- 9月 本庄総合運動公園へ外出
- 10月 ららん藤岡へ外出
- 11月 バイキング
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年会
- 2月 バイキング
- 3月 ららん藤岡へ外出

特定施設入居者生活介護稼働状況及び介護報酬請求状況

1 新規入居・退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
退居	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	5

2 月別介護度別利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支1	60	62	60	62	93	90	90	62	62	62	56	60	819
支2	120	124	120	124	93	90	90	93	93	93	84	90	1214
介1	150	124	120	124	124	120	120	124	124	124	108	150	1512
介2	90	124	120	124	93	90	90	93	124	124	108	120	1300
介3	30	31	30	31	31	30	30	31	31	31	54	60	420
介4	120	155	150	155	155	150	150	155	124	124	81	60	1579
介5	60	31	30	31	62	60	60	93	93	93	81	90	784
計	630	651	630	651	651	630	630	651	651	651	572	630	7628

※入・退院数、入退居日の誤差は含めていない。

3 月別介護報酬請求状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3,523,220	3,682,110	3,803,340	3,554,340	3,596,140	3,708,800

10月	11月	12月	1月	2月	3月
3,734,370	3,748,000	3,519,900	3,485,720	3,182,640	3,330,139

H24 平均
3,572,393

VI 認知症対応型共同生活介護事業状況報告書

グループホーム さくらんぼ

1 年度総括

平成24年度グループホームさくらんぼでは、利用者様の安全で安心な生活の提供のため、かかりつけ医と密な情報の交換・情報を迅速で確実に伝えるために、「往診シート」や「事前情報提供シート」を活用することで、利用者様の大怪我・重篤化の防止に努めました。また、職員のスキルアップのため施設内研修への参加はもちろんのこと、部署内勉強会を月1回「年間勉強会計画表」を基に実施致しましたが、体調不良による入院の方がいらした為、稼働率は99%と目標には届きませんでした。

24年度は御家族・地域の方々との、強い信頼関係を構築するため努力してまいりました。御家族には、利用者様の状況や状態を密にお伝えすることで、安心と信頼を得ていただけました。また、グループホームは、地域密着と言われながらも、さくらんぼは複合施設の中の1つなためか、なかなか地域の方々に知っていただけませんでした。地域内のさまざまなボランティアの来園を増やすことで、グループホームはどうゆう所なのか、どうゆう雰囲気なのかを知っていただけるようになりました。利用者様の得意分野や興味を活かし、日々の楽しみの1つとなる様な作品作りを行い、少しずつ興味を持っていただけ、張り合いに繋がってきています。また、その作品をホーム内に掲示していますが、その作品を見て喜んでくださり、関心を持っていただけるようになりました。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事業

- ・大正琴のボランティア
- ・コーラスのボランティア
- ・民謡のボランティア
- ・運営推進会議(2ヶ月に1度、年6回開催)
- ・地域住民へのさくらんぼ便りの回覧(毎月)

(2) 研修等事業

- ・外部研修参加(コミュニケーション&ストレスマネジメントカアアップ研修)
- ・外部研修参加(危機管理の実際とサービスの質の向上研修)
- ・施設内 研修・・・4月看取り介護
 - 5月労務関係について
 - 6月予防体操
 - 7月チームケア
 - 8月救急対応
 - 9月認知症について
 - 10月感染症・褥瘡予防
 - 11月事例発表
 - 12月虐待防止
 - 1月看取り
 - 2月上里町高齢者サービスの紹介

- 3月食事関係取り組み事例発表
- ・ 部署内勉強会 ・ ・ 4月虐待について
- 5月介護技術
- 6月事故予防
- 7月非常災害時の対応
- 8月認知症について
- 9月認知症について
- 10月個人情報とプライバシー
- 11月個人情報とプライバシー
- 12月介護記録①
- 1月介護記録②
- 2月介護記録③
- 3月介護セミナー講演会VTR観賞

(3) 行事事業

- 4月桜の花見・外食
- 5月誕生会・藤の花見・外食・母の日・バイキング・端午の節句
- 6月誕生会
- 7月誕生会・納涼祭
- 8月すいか割り・バイキング
- 9月誕生会・ふれあい作品展見学・外食・お月見
- 10月外食
- 11月バイキング
- 12月クリスマス会・餅つき
- 1月誕生会
- 2月誕生会・バイキング・健康祈願祭
- 3月誕生会・ひなまつり

Ⅶ 居宅介護支援事業所事業報告書

居宅介護支援センター りんどう

24年度事業報告 居宅介護支援センターりんどう

4月	施設内研修参加 3月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査
5月	施設内研修参加 4月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 集団指導出席 児玉圏域ケアマ ネ連絡会総会出席 神川町委託認定調査
6月	施設内研修参加 5月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査
7月	施設内研修参加 6月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 上里町地域包括居宅事業所研修 参加 児玉圏域ケアマネ連絡会居宅事業所研修参加 神川町委託認定調査
8月	施設内研修参加 7月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査 上里町高 齢者実態把握委託調査 ケース会議出席
9月	施設内研修参加 8月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査 上里町高 齢者実態把握委託調査 ケース会議出席
10月	施設内研修参加 9月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 児玉圏域ケアマネ連絡会居宅事 業所研修参加 神川町委託認定調査 上里町高齢者実態把握委託調査 ケース会議出席
11月	施設内研修参加 10月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 上里町地域包括居宅事業所研 修参加 神川町委託認定調査 上里町高齢者実態把握委託調査 ケース会議出席
12月	施設内研修参加 11月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査 上里 町高齢者実態把握委託調査 ケース会議出席
1月	施設内研修参加 12月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査 上里町 高齢者実態把握調査 ケース会議出席
2月	施設内研修参加 1月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 神川町委託認定調査 上里町高 齢者実態把握調査 ケース会議出席
3月	施設内研修参加 2月分介護予防実績 請求給付管理業務 利用者宅訪問 サービス 計画書作成 モリタリング 評価 ショート会議出席 上里町高齢者実態把握調査 ケース会議出席

24年度利用者数 月別推移

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	3	12	11	9	10	7	55
5月	3	3	12	10	8	10	6	52
6月	2	3	12	10	8	9	7	51
7月	2	3	13	11	7	10	6	52
8月	2	3	13	11	7	10	5	51
9月	2	3	13	12	6	9	6	51
10月	2	3	13	10	8	8	5	49
11月	1	2	14	9	9	10	4	49
12月	2	2	14	10	9	9	4	50
1月	2	3	14	10	7	8	2	46
2月	2	3	13	11	7	8	3	47
3月	2	3	13	10	5	10	4	47